

AIシンポジウム 登壇者紹介

特別講演（基調講演）



棚元 優太

**演題：私とAI
～アナログ会社がAIに挑戦する
理由～**

プロフィール

アルミファクトリー株式会社 代表取締役社長。アルミ加工事業と防災製品のプライベートブランド事業を展開。これまでAIはメールや資料作成程度の活用だったが、長年解決できなかった業務の属人化をきっかけに本格的なAI活用へ。現在、社内システム開発にも挑戦している。



宮前 英知

一般社団法人石川県中小企業診断士協会
AI研究会 会員

北陸エリアを中心に中小企業のIT・DX推進を支援。これまでのIT実務経験を活かし、ツール導入だけではなく、業務課題の整理から実行支援まで伴走する形でコンサルティングを提供。近年は、企業におけるAI活用支援にも注力している。



大門 敏浩

一般社団法人石川県中小企業診断士協会
AI研究会 会員

日韓の大手電機・電子部品メーカーで30年以上、製品開発と品質保証に従事。現場の知見と生成AIを掛け合わせ、ISO 9001:2026年版への移行対応や品質業務の効率化を自ら実践。開発から量産までを一貫して見てきた立場から現場で本当に使えるAI活用を提案する。



宇都宮 輝

一般社団法人石川県中小企業診断士協会
AI研究会 会員

金沢市材木町生まれ。地元企業に勤務する傍ら、社会保険労務士・中小企業診断士として活動。融資・補助金・助成金など、資金調達全般の支援を得意とする。専門知識と地域への愛着を生かし、地域に根ざした身近な専門家を目指して活動している。



尾崎 春菜

一般社団法人石川県中小企業診断士協会
AI研究会 会員

アウトソーシング会社を経て、現在は社会保険労務士事務所で人事労務コンサルタントとして勤務。石川県内の中小企業を中心に、バックオフィス業務の改善やツール導入を支援。従業員への定着まで伴走し、分かりやすく実務に直結する支援を得意とする。